

## 今年は虻高生17名がチャレンジ！！ ～ 遊覧船ガイド育成プロジェクトは4年目を迎えました～

北海道運輸局室蘭運輸支局では、今年も北海道虻田高等学校（以下：虻高生）3年生17名と連携して「遊覧船ガイド育成プロジェクト」を実施しました。

遊覧船ガイドの実施に向けては、さまざまな学習を通じてガイドに必要な知識を習得し、そこで得たものを高校生らしい視点、感性で生かしながら自分たちでガイドメニューを作成していきます。



今年は5月の乗船研修からのスタート。まずは実際に遊覧船に乗船して、虻高生自らが乗船客の気分を味わいながら、船上の雰囲気や船上からの景色を感じてもらいました。あわせて、操舵室での操船体験、機関室や着舷作業の見学を行い、船についてもしっかりと学習しました。

また、洞爺湖エリアを理解するための講義を実施し、役場や観光協会から地元のスペシャリストを講師として迎え、「洞爺湖の自然」「ジオパーク」「洞爺湖のイベント」など洞爺湖や周辺エリアの特徴、洞爺湖の観光やイベントを学ぶと共に、そこに関わる産業について学習しました。

さらに、現役バスガイドさんをお招きし、ガイドとしての心構えについて伝授していただきました。



教室での講義のみではなく、実際に屋外に出て、自分たちの目からも知識を吸収するべく、有珠山ロープウェイ研修では、ロープウェイで有珠山に登り、地元の火山マイスターからガイドを受けながら洞爺湖や有珠山、昭和新山など周辺エリアを学習しました。

この研修では、北海道を訪れていたベトナムの中高生と一緒にになったことから、インバウンドとの交流を体験することが出来ました。

研修の最後には、虻田高校を卒業して有珠山ロープウェイで働く先輩とも交流を図りました。先輩からはこの仕事を選んだ理由や仕事の楽しさなどをお話ししていただきました。このことがきっかけとなり、地元への就職へのつながればと思います。



このような学習を重ねながら、虻高生は模擬ガイド研修として遊覧船ガイドに向けた腕試しに取り組みました。

後輩の2年生と虻田中学校3年生をお客様に見立てた模擬ガイドを計画しましたが、2年生に対する模擬ガイドは荒天により中止となりました。

虻田中学校生に対する模擬ガイドでは、これまで学んできたことをクイズ形式のフリップにまとめ発表しました。ガイドの最後は、恒例となった洞爺湖に生息するカモメへのえさやりで、模擬ガイドを締めくくりました。



10月11日(木)、いよいよ遊覧船ガイドの本番。お相手は札幌からの日帰りツアーに参加した一般のお客様17名です。

遊覧船ガイドは、遊覧船「エスポアール」に乗船し5班に分かれてのおもてなしです。本番の緊張や平均年齢70歳のお客様からの想定外の質問にも耐えながら、用意したフリップを使い、一生懸命に説明をしていた姿が印象的でした。また、後半にはお客様と雑談を交わしたり、会話を交わしながらカモメのえさやりをする光景も見られ、全体を通して終始和やかに遊覧船ガイドは進みました。

下船後には、虻高生が用意したお土産をお客様に渡し、全員で記念写真を撮って、遊覧船ガイドは終了しました。お客様からは「孫のようで応援したくなり、すごく楽しかった」「若い学生さんから元気をもらいました」を暖かい言葉も頂くことができ、彼らにとってはすてきな思い出になったことでしょう。

この遊覧船ガイドは、来年度も継続します。お越しの際には、高校生の若々しいガイドをご体験いただければと思います。



9月に発生した胆振東部地震では、むかわ町、安平町を中心に大きな被害をもたらしました。幸いにも、洞爺湖をはじめとする北海道の観光地は大きな被害はありませんでしたが、洞爺湖エリアではツアーや宿泊のキャンセルが相次ぎ、大きな打撃を受けました。

でも、安心して下さい。洞爺湖は元気です。北海道は元気です。

是非、洞爺湖へ北海道へ再び足を運んで下さい。そして、『元気』を肌で感じて下さい。そのときは遊覧船ガイドでお迎えいたします。

## 遊覧船ガイドプロジェクトとは

遊覧船ガイド育成プロジェクトは、洞爺湖で遊覧船を運航している洞爺湖汽船(株)にご協力いただきながら、地元高校生が洞爺湖の遊覧船でガイドをしていることを知ってもらい、洞爺湖を訪れる日本人観光客、特に修学旅行生に遊覧船に乗船してもらうことで遊覧船利用者の増加につなげていくとともに、ガイドを経験した虻高生や修学旅行で訪れた高校生に洞爺湖エリアの魅力を感じてもらい、将来的に地域の観光、産業分野への就職へのきっかけにつなげることを目的に平成27年度にスタート、今年で4年目となります。

